

## 令和元年度進捗評価シート

萩市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年3月26日認定）

### □進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり支援事業	3
2 萩夏まつり支援事業	4
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業	5
4 浜崎伝建おたから博物館支援事業	6
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動	7
6 萩検定・子どもものしり博士検定支援事業	8
7 萩・万灯会	9
8 萩・大茶会支援事業	10
9 萩ものがたり出版支援事業	11
10 萩焼まつり支援事業	12
11 語り部活用事業	13
12 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	14
13 地域コミュニティ組織づくり事業	15
14 萩・夏みかんまつり支援事業	16
15 萩反射炉保存修理事業	17
16 恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業	18
17 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	19
18 萩城跡保存修理事業	20
19 文化財保護修理事業	21
20 弘法寺堀内線他無電柱化事業	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項	23
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	24
3 文化財施設等の活用に関する事項	24-26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 子どもの成長、息災願う 萩・藍場川で流し雛 ほか	27-29
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史まちづくりの効果	30

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	31
-------------------------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況

計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------------	---

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、観光政策部が中心となっており、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちゃん会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政の組織体制においては、平成30年度にまちじゅう博物館推進部を改め、観光政策部を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを観光と連携して総合的に進める体制を強化している。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「まちじゅう博物館」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPOまちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちゃん会」、「萩往還佐々並どうしてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

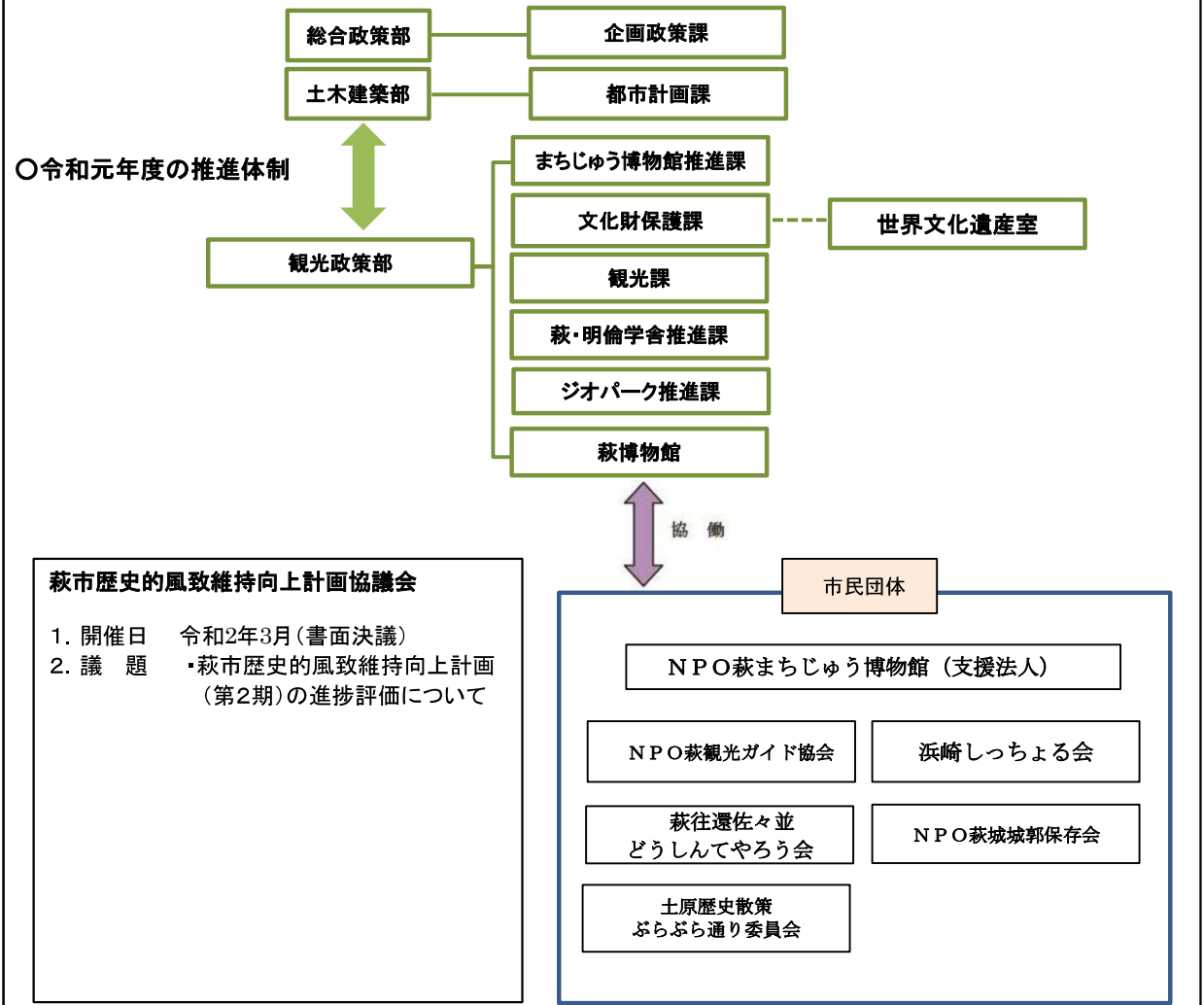
NPOまちじゅう博物館会員数 194人、NPO萩観光ガイド協会会員数 100人  
 浜崎しっちゃん会会員数 65人、萩往還佐々並どうしてやろう会会員数121人  
 (令和2年3月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。
--	--

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進体制の確立



評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部の環境を保全するために、新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

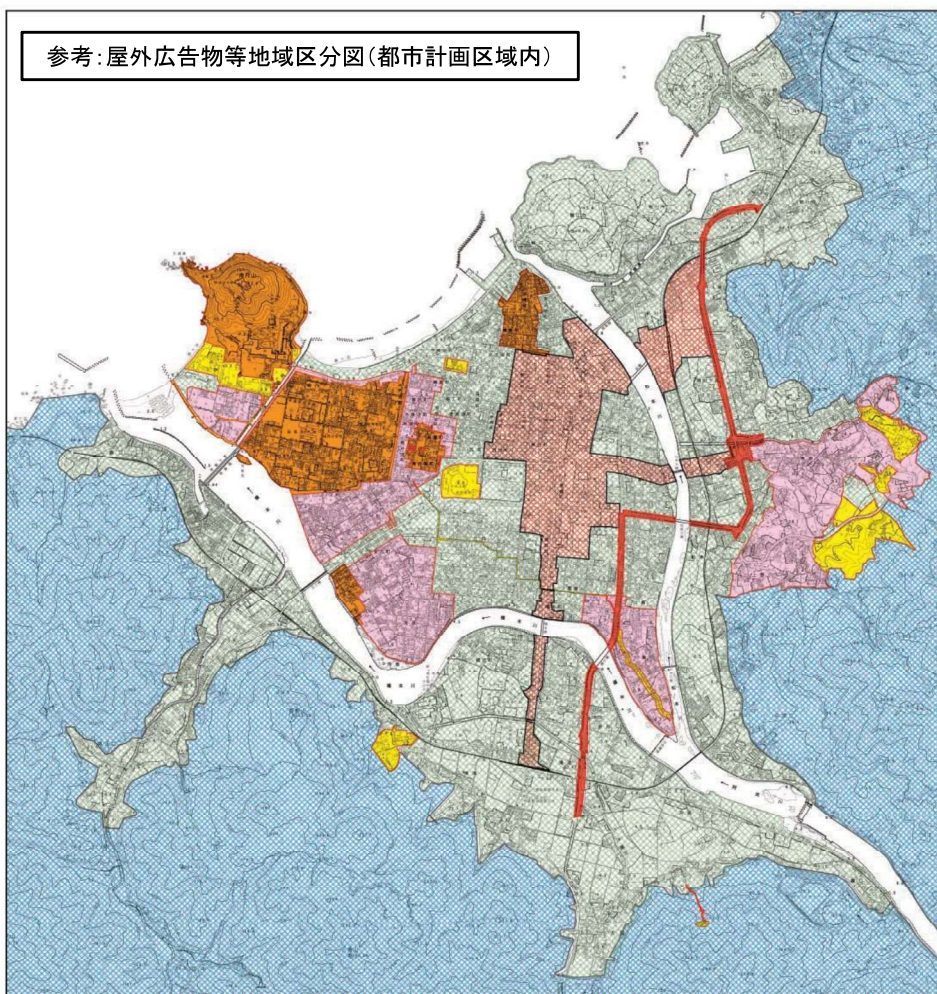
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。

○令和元年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 73件(令和2年3月31日現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいたうえで、基準に適合させた建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
萩時代まつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和元年11月10日(日)8時～16時		
入込数	56,000人(萩時代まつり、萩ふるさとまつり全体)		
今年も秋晴れの下、多数の市民や観光客が詰め掛け、伝統の祭を満喫した。大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



「草履舞」奉納の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



古萩大名行列

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩夏まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日	令和元年8月1日(木)～3日(土)		
開催場所	萩市内各所		
入込数	108,000人		
◆萩夏まつり主なスケジュール	○8月1日(木)20時～21時 「日本海大花火大会」 ○8月2日(金)17時～23時 「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトヤレ節)ほか」 ○8月3日(土)18時～23時 「お船謡、住吉御輿、踊り車ほか」		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和元年6月2日(日)9時00分～		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	14,000人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子

【イベントチラシ】



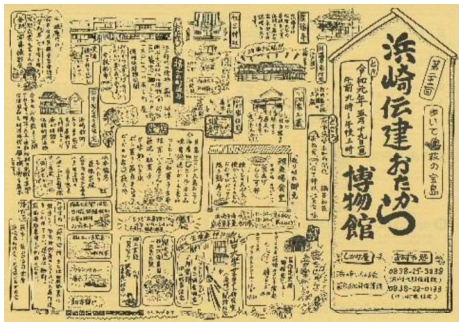
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和元年5月19日(日)9時～15時		
開催場所	萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 7,500人		
浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元「浜崎しつちよる会」を中心に各種催事が行われている。今回は家々に伝わるおたからの展示、伝建地区スタンプラリー、新鮮な海の幸が味わえる市場食堂、国指定史跡旧萩藩御船倉でのコーラスコンサート、古民家内での山口大学邦楽部による演奏などが行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



チラシ



御船倉コーラスコンサート



会場の様子



山口大学邦楽部演奏



おたからの展示の一部



浜崎魚市場のセリ体験

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
ワンコイントラスト(百円信託)運動	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 10箇所  
 ①道の駅「萩シーマート」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺高蔵旧宅  
 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩大板山たたら館  
 トラスト金額 累計31,587,799円 (令和2年2月29日現在)

本年度の信託金は、次年度以降の助成事業の実施に向け積み立てることとした。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない 文化遺産の保存のため、新たに整備された市内の施設などにトラストボックスの設置を検討する。

状況を示す写真や資料等

## 今までに修復などを行った萩の宝物

<p><b>第1号 井上勝旧宅門</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：井上勝(数通の父)旧宅門              物件の公開：萩市土庫、2009              修復年月：平成18年4月</p>	<p><b>第2号 猿田彦面山車</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：猿田彦面山車              物件の公開：在吉神社の古祭り              一般公開              修復年月：平成18年10月</p>	<p><b>第3号 平安古備組道具類</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：平安古備組道具類              ※平安古備組の道具類など10点              物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で              一般公開              修復年月：平成19年7月</p>
<p><b>第4号 御網代車</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：御網代車              物件の公開：毎年11月に行われる会谷天満宮祭りの御神幸              神輿で一般公開              修復年月：平成20年10月</p>	<p><b>第5号 長州砲</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：長州砲(萩野村一門自衛用砲)              物件の公開：萩博物館で期間限定公開              展 覧：平成20年8月から平成21年5月末日まで</p>	<p><b>第6号 伊藤博文公先祖の墓碑</b></p>  <p>修復後</p> <p>名 称：伊藤博文公先祖の墓碑              物件の公開：萩原寺境内にて常時公開              修復年月：平成21年9月</p>
<p><b>第7号 高杉晋作立志像</b></p>  <p>銅像建立</p> <p>名 称：高杉晋作立志像              物件の公開：安芸萩城跡下町              にて常時公開              建立年月：平成22年10月</p>	<p><b>第8号 奇兵隊隊服</b></p>  <p>奇兵隊隊服を再現</p> <p>名 称：奇兵隊隊服              物件の公開：萩時代まつりや              萩博物館で一般公開              再現年月：平成25年6月</p>	<p><b>第9号 久坂玄瑞進撃像</b></p>  <p>銅像建立</p> <p>名 称：久坂玄瑞進撃像              物件の公開：萩中央公園              にて常時公開              建立年月：平成27年1月</p>
<p><b>第10号 井上勝志気像</b></p> <p>銅像建立</p> <p>名 称：井上勝志気像              物件の公開：萩駅前にて              常時公開</p>		





評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
	項目	現在の状況
萩検定・子どもものしり博士検定支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～ ※「萩検定」は旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、令和元年度から開始	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	萩検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
開催日時	①萩検定 ・初級 開催期間:令和元年8月1日(木)～11月22日(金) 内容:自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可。テキストより各科目50問出題 択一式 45問以上正解で合格 ・中級 開催日:令和元年12月15日(日) 内容:自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。 テキストより各科目50問出題 択一式・記述式 45問以上正解で合格 開催場所:萩市総合福祉センター 萩検定は平成17年度より実施している旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、初級は自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可能とした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、令和元年度は計361名が受検した。	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩検定は来年度より上級試験を開催予定	

状況を示す写真や資料等

■旧萩ものしり博士検定、萩検定 受検者・合格者

旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
H27	68人	65人	61人	93.8%
H28	68人	62人	56人	90.3%
H29	48人	42人	35人	83.3%
H30	54人	46人	41人	89.1%
R元	863人	863人	618人	71.6%
合計	2,078人	1,974人	1,634人	82.8%

萩検定

旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
H27	26人	23人	8人	34.8%
H28	32人	29人	9人	31.0%
H29	27人	24人	8人	33.3%
H30	37人	33人	6人	18.2%
R元	183人	169人	140人	82.8%
合計	819人	752人	298人	39.6%

萩検定

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	450人
H26	440人
H27	394人
H28	404人
H29	368人
H30	355人
R元	361人
合格者	3,687人

萩市-8

萩検定



萩検定 中級検定の様子



子どもものしり博士検定用テキスト(改訂版)「萩ものしりブック」



評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
<b>萩・万灯会</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和42年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主としての一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆大照院<迎え火> 開催日時 令和元年8月13日(火) 19時30分～22時(20時～墓前供養) 入込数 6,300人 ◆東光寺<送り火> 開催日時 令和元年8月15日(木) 19時30分～22時  毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
<b>萩・大茶会支援事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和年5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 10時～15時		
入込数	14,100人		
市内4箇所	で茶席を開催		
	①遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】		
	②表千家千萩会【旧久保田家住宅】		
	③小堀遠州流萩支部【萩博物館】		
	④裏千家淡交会萩支部【旧厚狭毛利家萩長屋門】		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等





「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年4月発行 ・萩ものがたり61号 「高杉晋作 人とことば」(産経新聞東京本社編集委員 関厚夫 著) ・萩ものがたり62号 「山田顕義と萩」(日本大学広報課 松原太郎 著) 令和元年10月発行 ・萩ものがたり63号 「萩ジオパーク入門—萩の大地と人の物語—」(萩市ジオパーク推進課ジオパーク専門員 白井孝明 著) ・萩ものがたり64号 「樋音高く 笠井順八・久原房之助」(読売新聞山口総局 著) 平成16年度からの累計発行数64巻			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>平成31年4月発行                              ・萩ものがたり61号                              「高杉晋作 人とことば」                              (産経新聞東京本社編集委員 関厚夫 著)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>平成31年4月発行                              ・萩ものがたり62号                              「山田顕義と萩」                              (日本大学広報課 松原太郎 著)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>令和元年10月発行                              ・萩ものがたり63号                              「萩ジオパーク入門—萩の大地と人の物語—」                              (萩市ジオパーク推進課ジオパーク専門員 白井孝明 著)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和元年10月発行                              ・萩ものがたり64号                              「樋音高く 笠井順八・久原房之助」                              (読売新聞山口総局 著)</p> </div> </div>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和元年5月1日(祝・水)～5日(祝・日) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	42,500人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萩焼窯元等出店事業者 47社</li> <li>・ろくろ体験</li> <li>・萩焼を使ったテーブルコーディネート展</li> <li>・生け花展</li> <li>・萩焼抽選会</li> <li>・特産品の販売</li> </ul>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため新しい企画等を考案する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「萩焼まつり」会場内の様子



【イベントチラシ】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
<b>語り部活用事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩市の歴史的風致を構成する豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を「語り部」が文化財施設などで観光客等に語るにより、萩市の歴史や文化を広く全国発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。 【萩の語り部歴史講座①】 開催日時 令和2年1月25日(土)、2月11日(火・祝)、2月15日(土)、2月18日(火)、2月20日(木)、2月22日(土)、2月25日(火)に開催 ※令和2年1月～2月の間に7回開催 開催場所 萩・明倫学舎(復元教室)  【萩の語り部歴史講座②(出前講座)】 開催日時 令和2年2月16日(日)に開催 開催場所 平安古かいまがり交流館			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子①



○萩の語り部歴史講座の様子②(出前講座)



○萩の語り部歴史講座①

演題：「逃げの小五郎を支えた女性～幾松～」 「吉田松陰から高杉晋作へ「志」ここにあり」ほか  
 実施回数：7回  
 聴講者数：185人

○萩の語り部歴史講座②(出前講座)

演題：「萩の夏みかんの歴史」「長州藩の財政と村田清風」「なぜヒヤコ(ヒヤコ)と呼ばれるようになったのか？」  
 実施回数：1回  
 聴講者数：25人

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時: 令和元年5月7日(火)から令和2年3月27日(金) 事業実施箇所: 田町地区 事業主体: 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録した。(データ作成件数102件) ・おたから(文化遺産)認定事業 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行った。(令和元年度に認定されたおたから(文化遺産)田町地区85枚) ・おたから(文化遺産)データベースの作成 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催した。(参加者50名) ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業 事業実施地域などで大学生などと協力し、交流イベント等を開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信した。(交流イベント等参加者 福栄地区20名、佐々並地区18名、むつみ地区18名、地域おたから活用セミナー20名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。		
状況を示す写真や資料等			
○調査による地域おたからマップの作成			
【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地区	【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域	【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域	
【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区	【平成29年度】 江向地区、相島地区、浜崎地区	【平成30年度】 見島地区、玉江地区、山田・木間地区	【令和元年度】 田町地区

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
<b>地域コミュニティ組織づくり事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。			
令和元年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄地域) ・交付金額 32,670千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



【須佐地域】  
 須佐地域生涯学習発表会  
 ・子どもから高齢者までの幅広い世代が日頃の生涯学習や文化活動の成果を披露



【福栄地域】  
 福栄ふるさとまつり開催事業  
 ・平蕨地区芸能保存会による神楽舞  
 ・大板山たたら太鼓同好会、福栄小中学校有志、福川保育園児、紫福保育園児による和太鼓演奏

【旭地域】  
 明木地区農業文化祭  
 ・明木小学校児童による演技、合唱等の披露  
 佐々並おいでん祭  
 ・伝建地区のまちなみガイドツアー  
 彦六・又十郎伝保存会



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
萩・夏みかんまつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～40年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	土堀越しにのぞく夏みかんは、萩を代表する景観の一つ。本事業を通じ萩の伝統的建造物が多く残る景観と夏みかんの深い関係を広く情報発信することにより、夏みかんに関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和元年5月11日(土)～12日(日) 10時～16時		
開催場所	かんきつ公園・旧田中別邸		
入込数	6,191人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏みかん収穫体験</li> <li>・郷土芸能披露</li> <li>・夏みかん生しぼりジュース体験</li> <li>・夏みかん・夏みかん製品販売</li> </ul>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩を代表する、特産品である夏みかん及び夏みかんに関わる独自の風景などのPRとして、効果的なイベントとなっている。		
状況を示す写真や資料等			

「萩・夏みかんまつり」会場内の様子



【イベントチラシ】



	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

萩反射炉保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～36年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩反射炉は前回の保存修理工事から35年が経過し、煙突本体煉瓦部の劣化が著しい状態であるため、当該箇所の保存修理を行い歴史的景観の保全を図ることにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

萩反射炉煉瓦の補修方法について、萩反射炉整備委員会の専門員及び文化庁の調査官と協議を行い、意見のとりまとめを行った。  
また、煉瓦部の補修用素材としての適合性・耐久性を確認する試験に用いる試験用煉瓦作製のため、原材料となる3種類の土の採取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

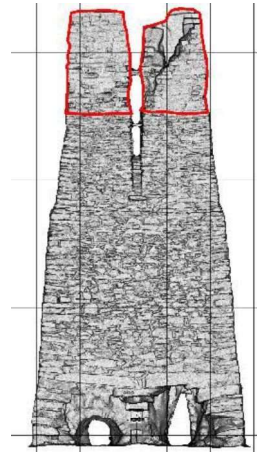
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

萩反射炉の築造に使用された幕末期の煉瓦については、全国的に見ても類例に乏しく、専門家の中でも補修方法が確立されておらず、萩反射炉整備委員会の各委員、内閣官房及び文化庁等と協議を重ねながら、一つずつ意見調整を行っているため、保存修理方法の決定に時間を要している。  
この課題を解決するため、実験を重ねながらデータを収集・分析し最適な煉瓦部の設計を行い、各委員等の承認を得た上で、早期に保存修理工事に着手することを目指す。

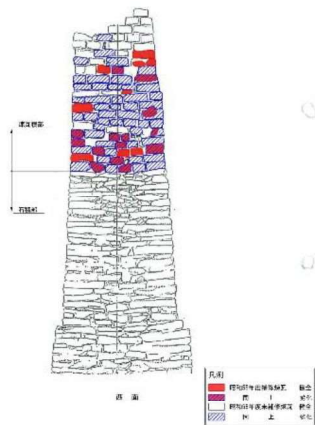
状況を示す写真や資料等



【萩反射炉 現況写真】



【萩反射炉 立面図】



【萩反射炉 西面煉瓦欠損状況図】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
<b>恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和8年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	恵美須ヶ鼻造船所跡は、幕末に萩藩が洋式軍艦を建造した遺跡である。この遺跡の調査研究・保存整備を行うことで、その歴史的価値が向上し、多くの人々に情報発信することにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
発掘調査 期間:7月1日～2月7日 調査箇所・面積:トレンチ①(23㎡)、トレンチ②(41㎡)、トレンチ③(131㎡)、トレンチ④(115㎡)、合計310㎡ 調査成果:トレンチ①(造船場とその他遺構)、トレンチ②(掘立柱建物、布掘基礎)、トレンチ③(綱製作木屋、布掘基礎)、トレンチ④(綱製作木屋、炉跡、大形柱穴、柱穴、盛土基礎) 現地見学会:10月12日を予定していたが、台風19号のため中止 整備委員会:1月21日実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

**【凡例】**

- 造船時の海岸推定線(石垣)
- 榎本伊豆下屋敷時の海岸推定線(石垣)
- 江戸時代以前の海岸推定線(磯・砂・貝)
- 丙辰丸及び庚申丸建造時の各施設推定位置(絵図と平成30年度までの調査成果に基づく)
- R1年度調査したトレンチ
- R1年度調査成果 ● 集石(柱基礎) ● 柱穴
- 砂浜範囲 ●●● 推定線

※丙辰丸(安政三～四(1856～57年))  
 庚申丸(安政六～万延元(1859～60年))


0 (1:600) 50m

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～40年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業、萩市単独事業		
計画に記載している内容	国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物や歴史的景観との保全が図られ、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国選定重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景5件 民間が所有する門、長屋、土塀及び土蔵等の保存修理、修景を実施 ・堀内鍵曲り土塀保存修理工事 堀内鍵曲り土塀を整備し、周辺の文化財施設と連携し、価値と魅力を向上			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緊急度等を勘案し計画的に保存修理工事を実施し、歴史的まちなみを保存する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

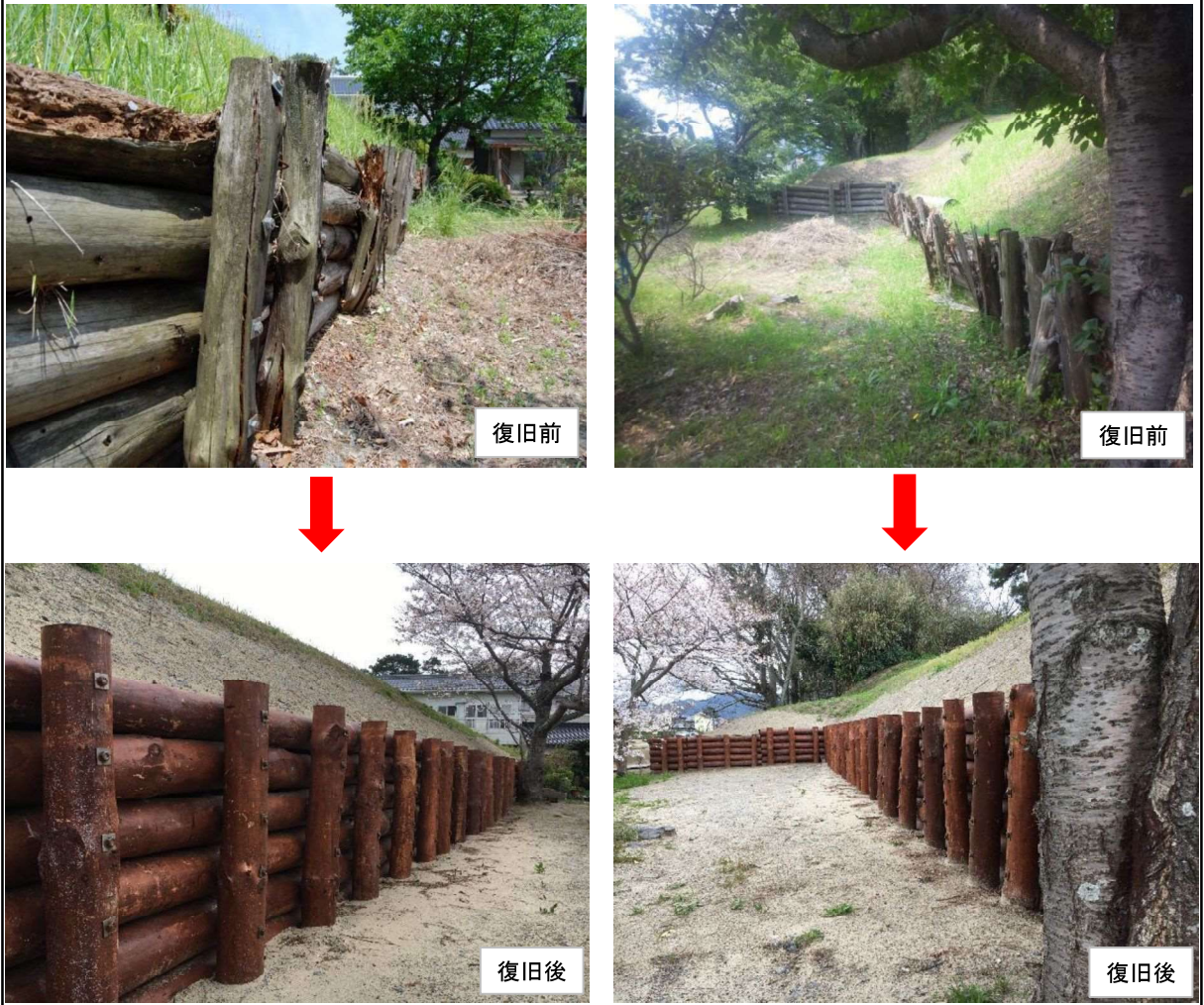
	修理前	修理後
伝統的建造物(土塀)の 保存修理工事 (堀内伝建地区)		
伝統的建造物(土蔵)の 保存修景工事 (平安古伝建地区)		
堀内鍵曲り土塀保存 修理工事 (堀内伝建地区)		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
<b>萩城跡保存修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～40年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	史跡萩城跡を構成している重要な石垣の保存修理、城内の整備を行うことにより、萩城跡に位置する花江茶亭などの伝統的建造物との歴史的景観の向上に繋がり、茶道にみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡萩城跡外堀の北端に位置する土塁木柵(延長25.7m)について、腐食した木杭・横木の取替えを行った。材質・寸法・工法は破損前と同一とした。 杭木: 赤松丸太皮むき 長さ2.0m、直径15cm 合計41本 横木: 赤松丸太皮むき 長さ2.0m、直径15cm 合計77本 ※杭木・横木は防腐処理を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	木製品を素材とした整備箇所については、定期的な修繕が必要である。今後は、経費削減を勘案し、長期的に修繕不要な素材の採用も検討する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

史跡萩城跡(外堀)土塁木柵の復旧



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
<b>文化財保護修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～40年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	良好な町並みの景観の保全と歴史的建造物等の適正な維持管理が促進され、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の修理等については、定期的に各文化財を巡視するとともに、文化財保護指導員や観光ガイドと協力し、維持補修等を適切に実施しつつ、計画的に修理事業を実施している。 令和元年度は、6件の保護修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	維持管理を行っている文化財施設が多数にわたり、保護修理に必要な予算の確保が十分ではないため、定期的な巡視と初期段階での補修に努めている。 また、優先順位を決め、計画的に修繕事業を進めている。		

状況を示す写真や資料等



【桂太郎旧宅 縁板修繕 完】



【平安古鍵曲り門扉修繕 完成】



【旧久保田家住宅 西脇門修繕 完成】

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
弘法寺堀内線他無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～36年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	世界文化遺産の構成資産、「萩城下町」の要素のひとつである、「御成道」等について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に無電柱化の概略検討業務を実施し、既設の地下埋設物や道路、建物等の状況を確認し、技術的に無電柱化が可能かどうかの検討を行い、概略の計画を作成した。また、各電線管理者との協議を行い、自治体管路方式での整備について合意の形成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		電線管理者との協議を継続して行き、合わせて地元関係者への説明会を実施予定である。また、世界文化遺産の構成資産「萩城下町」内での事業となり、事業実施に向けての協議が必要である。	
状況を示す写真や資料等			

**事業イメージ**

現状



無電柱化後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

計画に記載している内容

文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に実施しつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成30年度からは、平成28・29年度に策定した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「整備基本計画」に基づき、関連する遺跡等について整備を進めている。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。

【令和元年度主要事業】

- ・文化財の修理及び保存
  - 伊藤博文旧宅保存修理事業  
屋根の葺替、軸部の修理を実施。  
(期間:令和元年度～令和3年度)
  - 松下村塾保存整備事業  
土系舗装、排水溝及び排水管の敷設工事を実施。
  - 萩城跡保存修理事業  
劣化が進行した、外堀土塁木柵の復旧工事を実施。
- ・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 6件  
市が所有する土塀、民間が所有する土塀、門、長屋、土蔵、離れの保存修理等を実施。
- ・文化財の適正な保存と活用方法の計画及び設計  
萩藩主毛利家墓所保存活用計画  
大板山たたら製鉄遺跡整備基本設計
- ・埋蔵文化財の調査  
史跡地及び周知の埋蔵文化財包蔵地の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を実施。  
恵美須ヶ鼻造船所跡発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。
---	---

状況を示す写真や資料等



史跡の保存修理  
(国指定史跡 伊藤博文旧宅)



史跡の保存修理  
(国指定史跡 松下村塾及び吉田松陰幽囚ノ旧宅)



史跡の保存修理  
(国指定史跡 萩城跡)



伝統的建造物の保存修理  
(堀内伝建地区)



伝統的建造物(土塀)の保存修理  
(堀内伝建地区)



埋蔵文化財の発掘調査  
(国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況

- ①文化財の普及・啓発
- ②文化財の防災・防犯

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容  
 萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。これに伴い、世界文化遺産関連資産については、引き続き広く普及・啓発が行なわれ、ガイド活動も盛んに展開されている。また、萩藩校明倫館内にある旧明倫小学校も「萩・明倫学舎」として学が観光の新たな拠点施設として整備され、官民連携の下その活用に取り組んでおり、多くの来訪者を迎えている。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に務めている。

【令和元年度主要事業】

- ・世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発  
 構成資産の一つである「大板山たたら製鉄遺跡」の理解増進に資するため、「第5回大板山たたら祭り」を開催した。  
 (令和元年10月20日)
- ・文化財の防災  
 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである、萩城下町の青木周弼旧宅において、「文化財防火デー」を実施した。  
 (令和2年1月25日)
- ・文化財の維持管理  
 伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。
- ・文化財保存団体の研修  
 伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者4名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(秋田県横手市)に参加した。(令和元年5月22日～5月24日)
- ・文化財の利活用  
 堀内地区伝建地区内にて散策イベントを実施(令和元年5月3日)。佐々並市伝統的建造物群保存地区内の旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)を運営。地元団体の萩往還佐々並どうしんてやろう会が管理・運営し、木工体験のイベントを実施(令和元年7月28日)。
- ・文化財の普及啓発  
 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集を実施した。
- ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開  
 萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータ

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。

状況を示す写真や資料等



世界文化遺産の啓発・普及  
 【大板山たたら製鉄遺跡】  
 「第5回大板山たたら祭り」  
 令和元年10月20日(日) (250人)



文化財防火デー行事  
 【青木周弼旧宅(国史跡 萩城下町)】  
 令和2年1月25日(土) (40人)



文化財の利活用  
 【堀内地区伝統的建造物群保存地区】  
 第2回城下町萩・堀内散策  
 (堀内地区伝建地区)  
 令和元年5月3日(金) (約250人)



文化財の利活用  
 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】  
 佐々並市伝建地区で作る！  
 夏休みの木工体験  
 (往還ふれあい塾)  
 令和元年7月28日(日) (20人)



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業  
 【田町地区】  
 令和元年5月7日(火)～令和2年3月27日(金)  
 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業

※()は集客数

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
①文化財施設等の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が167件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等

【令和元年度】

萩城跡等ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩プレミアム、萩・竹灯路物語、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雛たち、萩・椿まつり、城下町萩・堀内散策

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和元年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ  
 【萩駅舎(登録有形文化財)】  
 通年: 日没～22:00  
 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



萩往還まつり「技・明木展」  
 【萩往還(史跡)】  
 令和元年5月3日(祝・金)・4日(祝・土)  
 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント (10,000人)



萩・夏みかんまつり  
 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】  
 令和元年5月11日(土)・12日(日)  
 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント (6,191人)



須佐湾遊覧船  
 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】  
 令和元年4月28日(日)～10月31日(木)  
 名勝である須佐湾を広くPRするため運航 (1,274人)



萩オープンガーデン  
 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺蒿蔵旧宅ほか全23施設】  
 令和元年11月16日(土)～11月24日(日)  
 文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント (3,300人)



着物ウィーク  
 【萩城城下町(史跡)ほか】  
 令和元年10月1日(月)～14日(祝・月)  
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント (8,400人)  
 ※( )は集客数

評価軸④-3  
文化財の保存又は活用に関する事項

状況を示す写真や資料等



**萩・竹灯路物語**  
【萩城城下町(史跡)ほか】  
令和元年10月11日(金)～13日(日)  
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (3,132人)



**秋の萩焼まつり**  
令和元年10月11日(金)～14日(祝・月)  
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (8,900人)



**萩往還佐々並おいでん祭**  
【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】  
令和元年11月17日(日)  
佐々並市の町なみ散策とともに特産品をPRするイベント(3,000人)



**維新の里萩城下町マラソン**  
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】  
令和元年12月8日(日)  
萩まちじゆう博物館を舞台に、全国から3,312人の申込みがあり、2,726人が完走した。



**萩城下の古き雛たち**  
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか15施設】  
令和2年2月3日(月)～4月3日(金)  
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント(実施中)



**萩・椿まつり**  
【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】  
令和元年2月15日(土)～2月27日(木)  
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント  
(R元 27,040人)  
※コロナウイルスの影響のため、期間短縮



**城下町萩・堀内散策**  
【堀内地区】  
令和元年5月3日(金・祝)  
堀内の各所で地区住民の皆さんがガイドを行うまち歩きイベント  
(約250人)

※( )は集客数

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道	評価対象年度 令和元年度		
	報道等タイトル	年月日	掲載紙等
<b>【計画等に関連する記事】</b>			
子どもの成長、息災願う 萩・藍場川で流し雛	H31.4.4	山口新聞	
子の成長願い 流し雛	H31.4.9	朝日新聞	
名人戦第2局 萩で22・23日	H31.4.9	毎日新聞	
萩の和船大競漕 参加チーム募集	H31.4.10	山口新聞	
婚姻届けの臨時窓口開設 松陰が“書いた”元号湯飲み贈呈	H31.4.18	山口新聞	
「いかマルシェ」オープン	H31.4.19	山口新聞	
大盤解説会の参加者を募集 萩で将棋名人戦	H31.4.19	朝日新聞	
第77期名人戦七番勝負第2局 萩で初開催	H31.4.19	毎日新聞	
きょうから萩で対局 第77期名人戦	H31.4.22	毎日新聞	
将棋名人戦前に駒や照明を確認	H31.4.22	朝日新聞	
萩で名人戦 第2局	H31.4.23	毎日新聞	
萩で名人戦始まる	H31.4.23	朝日新聞	
第77期名人戦	H31.4.24	毎日新聞	
名人戦 大盤解説150人見守る	H31.4.24	毎日新聞	
将棋名人戦7番勝負	H31.4.24	朝日新聞	
来月1日から萩焼まつり	H31.4.24	山口新聞	
「令和」歓迎へ自治体が準備 萩市は松陰筆跡で萩焼 27日からプレゼント	H31.4.25	山口新聞	
来月1日婚姻受付 記念品に松陰「令和」コップ	H31.4.25	毎日新聞	
吉田松陰の地で最高の棋戦	H31.4.25	朝日新聞	
松陰筆の「令」「和」萩焼に カップ製作しプレゼント	H31.4.26	朝日新聞	
「令和」デザイン萩焼コップ用意	H31.4.26	読売新聞	
須佐湾遊覧船28日運行開始	H31.4.26	山口新聞	
各地の伝統工芸特産品がずらり 萩・明木で来月3、4日	H31.4.26	山口新聞	
萩往還まつり	H31.4.26	中国新聞	
萩で藩校サミット	H31.4.27	山口新聞	
萩で催し様々 きょうから大型連休	H31.4.27	読売新聞	
4流派抹茶おもてなし	H31.4.27	山口新聞	
夏ミカンと甘夏収穫体験しよう	H31.4.27	山口新聞	
松陰書簡に「令」「和」文字 萩博物館で公開	H31.4.28	読売新聞	
須佐湾遊覧船が運行開始	H31.4.29	山口新聞	
藩校サミット事業計画承認 11、12月萩大会	R元.5.1	読売新聞	
須佐湾クルージングいかが	R元.5.1	毎日新聞	
婚姻届 一番乗り 萩焼ペアコップ贈呈	R元.5.2	毎日新聞	
萩市が「夏ミカン開花宣言」	R元.5.2	山口新聞	
萩焼まつり開幕	R元.5.2	山口新聞	
夏ミカン開花 甘い香り漂う	R元.5.2	読売新聞	
萩焼2万点販売	R元.5.3	毎日新聞	
県内外の工芸品一堂に 萩往還まつり「技・明木展」始まる	R元.5.4	山口新聞	
萩ジオパーク推進協がガイドブック 体験やグルメ知って	R元.5.8	山口新聞	
夏ミカンの白い花見ごろ	R元.5.9	毎日新聞	
GW萩観光客31万2477人	R元.5.11	読売新聞	
夏ミカンの花	R元.5.11	朝日新聞	
収穫・生搾り・おいしい きょうまで萩・夏みかんまつり	R元.5.12	山口新聞	
10連休中31万2477人来場	R元.5.16	毎日新聞	
萩ジオパークビジターセンター パネル展示をリニューアル	R元.5.17	山口新聞	
旧家の家宝や建物公開 萩・浜崎地区で19日	R元.5.17	読売新聞	
あす萩で旧家のお宝拝見	R元.5.18	山口新聞	
萩と夏ミカン改めて知って 萩博物館で絵など30点展示	R元.5.22	山口新聞	
萩「おたからマップ」発行 地区の隠れた魅力など紹介	R元.5.24	山口新聞	
「ちょこのりEV」しませんか 電気自動車・バイク・自転車 無料貸し出し	R元.5.26	毎日新聞	
伝統の和船競漕来月2日	R元.5.31	読売新聞	

こげ！力の限り おしくらごう	R元.6.3	朝日新聞
和船3隻が速さ競う 萩 橋本川で「おしくらごう」	R元.6.3	毎日新聞
白熱「おしくらごう」	R元.6.4	山口新聞
夏ミカン栽培の歴史たどる 萩の博物館で企画展 11日まで	R元.6.7	朝日新聞
衰えるヤブツバキ再生へ 笠山群生林で萩市	R元.6.13	毎日新聞
できたかな？児童がカヌー体験	R元.6.22	毎日新聞
児童22人カヌー体験	R元.6.26	読売新聞
瀬つきあじPR 萩で来月7日	R元.6.28	読売新聞
萩で「お試し暮らし」いかが 市が住宅整備	R元.6.30	毎日新聞
萩の瀬つきあじ祭り	R元.7.2	山口新聞
危険な生き物迫力の展示 萩博物館	R元.7.4	読売新聞
旬の瀬つきあじ即売大盛況	R元.7.8	朝日新聞
「危険生物」にドキドキ 萩博物館に剥製など200点	R元.7.9	山口新聞
「萩ものがたり」シリーズに新刊	R元.7.10	朝日新聞
むつみ昆虫王国13日から営業	R元.7.10	山口新聞
須佐男命いか直売市	R元.7.13	毎日新聞
カブトムシの強さ 触れて体験 萩の昆虫王国	R元.7.14	朝日新聞
カブトムシに触れるよ	R元.7.14	毎日新聞
カブトムシ見て触れて むつみ昆虫王国オープン	R元.7.15	山口新聞
ぞうきんがけペアで熱戦 萩・明倫学舎ぞうきんがけペアレース	R元.7.25	山口新聞
須佐湾大花火大会	R元.7.25	山口新聞
萩のむつみヒマワリ見頃	R元.7.26	朝日新聞
花火7000発打上 来月1～3日 萩夏まつり	R元.7.26	読売新聞
夏の大輪22万本 萩でヒマワリ見ごろ	R元.7.31	朝日新聞
城下町の風物詩「萩夏まつり」あすから	R元.7.31	山口新聞
夜空彩る7千発、3万8千人魅了 萩・日本海大花火大会	R元.8.3	山口新聞
萩の夏を楽しもう 須佐湾遊覧船 萩・万灯会	R元.8.11	読売新聞
姉妹都市40年 鎌倉から萩に中学生ら	R元.8.16	山口新聞
萩城下町駆ける ランナー募集中 萩城下町マラソン	R元.8.17	毎日新聞
怖い？大丈夫？珍獣ら剥製紹介 萩博物館で特別展	R元.8.25	朝日新聞
萩・明倫学舎で「熱中小学校」	R元.8.27	中国新聞
県内初 萩に熱中小学校	R元.8.29	山口新聞
萩博物館150万人	R元.8.31	山口新聞
萩の食材楽しもう ビュッフェとバーベキュー	R元.9.1	山口新聞
萩博物館来場150万人	R元.9.1	読売新聞
萩で食の祭典14～16日	R元.9.5	読売新聞
萩博物館が来場者150万人達成	R元.9.6	毎日新聞
14、15日に萩の食イベント	R元.9.12	山口新聞
萩・食の祭典	R元.9.12	毎日新聞
「萩検定」スマホで挑戦可	R元.9.16	毎日新聞
萩の食材使い特別メニュー 萩・食の祭典	R元.9.18	山口新聞
新ロゴマーク決まる 萩ジオパーク	R元.9.24	山口新聞
和の装いで町歩き 萩で着物ウィーク開幕	R元.10.2	山口新聞
萩の城下町 着物で散策	R元.10.4	読売新聞
「萩ジオパーク」ロゴ決まる	R元.10.4	毎日新聞
「萩ものがたり」61、62号を発行	R元.10.9	読売新聞
萩・田町萩焼まつり開幕	R元.10.12	山口新聞
萩焼1万点ずらり 田町商店街	R元.10.12	読売新聞
萩焼まつり あすまで	R元.10.13	毎日新聞
萩の城下町を着物シャック 市内外の100人参加	R元.10.16	山口新聞
和服で萩城下町を歩こう	R元.10.17	西日本新聞
萩ジオパーク、PR熱く	R元.10.30	朝日新聞
萩市内で3日にふるさとまつり	R元.11.1	山口新聞
最優秀賞に「萩城下町」 市内の世界遺産絵画コンテスト	R元.11.6	山口新聞
萩の世界遺産 年賀はがきに	R元.11.7	山口新聞
特産品一堂に、歴史絵巻も 今日から産業祭、あす時代まつり	R元.11.13	西日本新聞
あす萩・佐々並で記念の白河踊りも 萩往還ささなみおいでん祭	R元.11.16	山口新聞
「きものの似合う街大賞」萩市が初代グランプリ	R元.11.20	毎日新聞
「きものの似合う街大賞」萩が初代グランプリに	R元.11.26	山口新聞
藩校サミットあすから	R元.11.29	読売新聞

<p>萩である「全国藩校サミット」</p> <p>藩校サミット開幕 萩に藩主の子孫ら一堂</p> <p>明治支えた藩校教育 萩で藩校サミット 全国から800人</p> <p>武士教育の理念 現代に 萩で全国藩校サミット</p> <p>萩の志教育 思い新たに 全国藩校サミットに800人</p> <p>第20回記念 萩焼トロフィー 萩城下町マラソン</p> <p>明倫館300年記念講演 萩博物館</p> <p>萩マラソン目前 ランニング教室</p> <p>維新の里萩城下町マラソンに2800人</p> <p>維新の里2726人完走 萩城下町マラソン</p> <p>ツバキ開花宣言 萩・笠山群生林</p> <p>ツバキ開花宣言 萩・笠山群生林</p> <p>世界遺産登録5周年を記念 萩観光キャンペーン展開へ</p> <p>“萩の世界遺産”カレンダー販売</p> <p>萩トラベルパス2020冬発行</p> <p>萩ワンデーウォーク 実行委員会が参加者募集</p> <p>世界遺産5周年へ 萩を盛り上げよう 市、観光催しに補助金</p> <p>シロウオ産卵、無事に 萩で投石作業</p> <p>シロウオ豊漁願って 萩産卵場所つくる投石作業</p> <p>シロウオ産卵場づくり 萩の川に投石</p> <p>萩観光盛り上げ おもてなし宣言 シーズン開き</p> <p>新資料5点含む80点 企画展「萩の夏みかん物語Ⅱ」</p> <p>「城下の古き雛」1200体 萩市内の15ヵ月で展示</p> <p>笠山群生林で「萩・椿まつり」</p> <p>萩・椿まつり開幕</p> <p>萩・椿まつり開幕</p> <p>「萩城下の古き雛たち」市内15ヵ所計1200体</p> <p>萩で世界遺産ご当地フェア きょうから明倫学舎で</p> <p>「産業革命遺産」特産品の販売会 萩・明倫学舎、8日まで</p> <p>ひな人形 萩で1200体展示</p>	<p>R元.11.29</p> <p>R元.12.1</p> <p>R元.12.1</p> <p>R元.12.1</p> <p>R元.12.1</p> <p>R元.12.6</p> <p>R元.12.8</p> <p>R元.12.8</p> <p>R元.12.10</p> <p>R元.12.10</p> <p>R元.12.24</p> <p>R元.12.25</p> <p>R元.12.26</p> <p>R元.12.29</p> <p>R2.1.1</p> <p>R2.1.13</p> <p>R2.1.13</p> <p>R2.1.17</p> <p>R2.1.17</p> <p>R2.1.17</p> <p>R2.2.3</p> <p>R2.2.3</p> <p>R2.2.12</p> <p>R2.2.14</p> <p>R2.2.16</p> <p>R2.2.16</p> <p>R2.2.18</p> <p>R2.2.28</p> <p>R2.3.3</p> <p>R2.3.3</p>	<p>山口新聞</p> <p>読売新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>毎日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>読売新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>毎日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>毎日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>朝日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>読売新聞</p>
<p>萩で世界遺産催し8県の特産品並ぶ</p> <p>春告げるシロウオ漁 萩・松本川</p> <p>「シロウオ漁」始まる 萩・松本川</p> <p>シロウオ漁 春告げる</p>	<p>R2.3.6</p> <p>R2.3.6</p> <p>R2.3.6</p> <p>R2.3.6</p>	<p>読売新聞</p> <p>毎日新聞</p> <p>山口新聞</p> <p>読売新聞</p>
<p>歴史的風致維持向上計画の着実な推進などにより、計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信され、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。また、明治維新150周年を記念した各種事業や、世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に関わるもの、藩校創建300周年を記念して開催された「全国藩校サミット萩大会」なども、新聞、テレビ等で紹介された。</p>		
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>	<p>実施にあたっての課題(自由記述)</p>	
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。</p>	

評価軸⑥  
その他(効果等)

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

計画に記載している内容  
萩市は、平成21年1月19日に第1期計画となる「萩市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的建造物等の保存・修理を計画的に行ってきた。  
歴史的に重要な文化財が数多く残存する萩市において、この豊かな萩市固有の歴史的風致を次世代に伝え、引き継いでいくため「歴史まちづくり法」第5条第1項に基づき、「萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)」を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

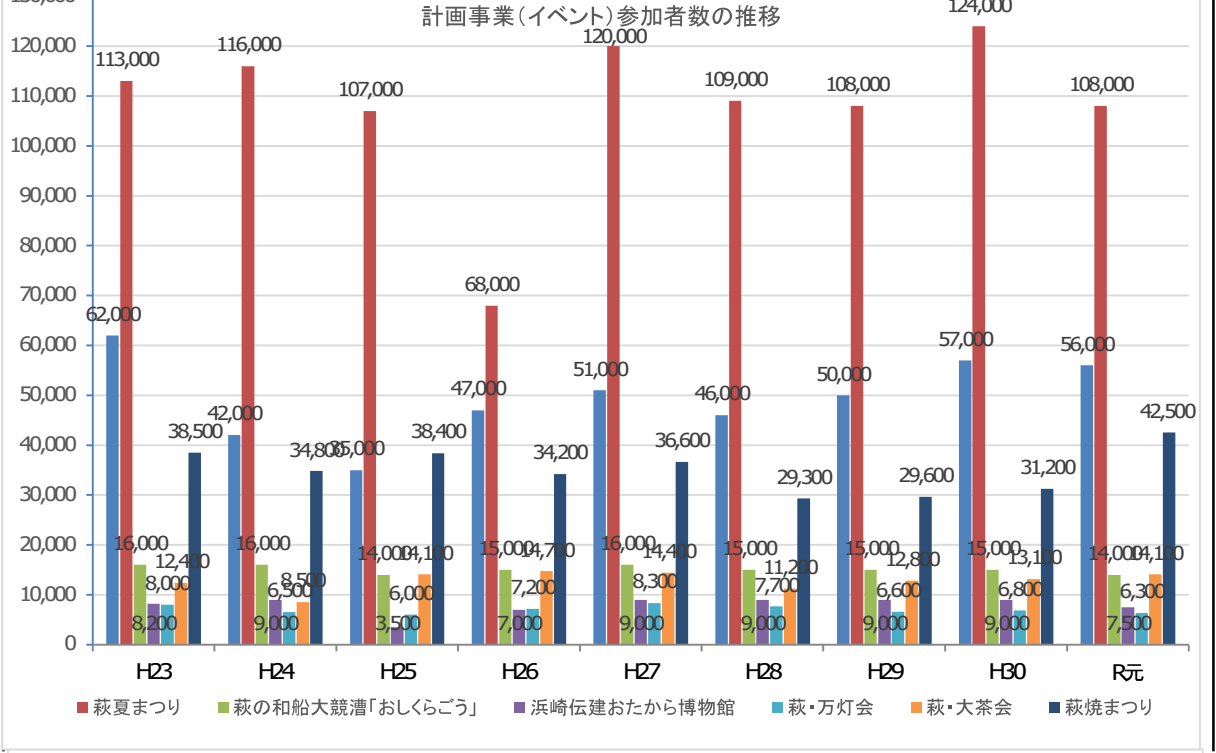
萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。  
具体的には、歴史的風致の維持及び向上に資する各事業を進めたことにより、各イベント参加者数などが高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。  
また、令和元年度には、一般社団法人全国きもの街づくり協議会が実施した「第2回きもの似合う街大賞」において、「萩」が最多4,522票を得て、全国グランプリに決定されるなど、長年における歴史的風致の取組が評価されている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
評価軸③-20	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和2年3月(書面決議による)	
(コメントの概要)	
協議会議事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について</li> </ul>	
コメント等	
なし	
(今後の対応)	
<p>第2期萩市歴史的風致維持向上計画を平成31年3月に策定し、令和元年度以降も継続して歴史的風致の維持向上に努めていくこととしている。</p>	